ル　覆いの埋め戻す基準不適合土壌と接する面を覆う材料並びに当該材料が遮水の効力及び腐食防止の効力を有する材料であることを確認した結果 ヲ　覆いの構造 ワ　覆いの損壊を防止するための措置 カ　表面をコンクリート又はアスファルトとすることが適当でないと認められる用途に用いられている土地にあっては、必要に応じ覆いの表面を覆う覆いの種類、範囲及び厚さ ヨ　実施措置を行う前の地下水の特定有害物質による汚染状態 タ　地下水が目標地下水濃度を超えない汚染状態にあることを確認するための地下水の水質の測定を行うための観測井を設置する地点及び当該地点に当該観測井を設置する理由 レ　タの観測井を設置する方法 ソ　タの地下水の水質の測定の対象となる特定有害物質の種類並びに当該測定の期間及び頻度 ツ　構造物の内部に雨水、地下水その他の水の浸入がないことを確認するための観測井を設置する地点 ネ　ツの観測井を設置する方法 ナ　ツの確認を行う期間及び頻度	七　不溶化	
一　原位置不溶化 イ　基準不適合土壌のある範囲及び深さその他の土壌汚染の状況並びにその他の汚染除去等計画の作成のために必要な情報 ロ　評価地点及び当該評価地点に設定した理由 ハ　目標土壌溶出量及び目標地下水濃度並びに当該目標土壌溶出量及び当該目標地下水濃度に設定した理由		
一　原位置不溶化 イ　この項の中欄第一号ニに掲げる事項の変更のうち、目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌の外側にあり、かつ、準不透水層又は不透水層であってもっとも浅い位置にあるものより浅い範囲及び		